

岡谷市新病院建設基本設計  
プロポーザル審査結果報告書

平成23年6月  
岡谷市新病院建設基本設計プロポーザル審査会

# 岡谷市新病院建設基本設計プロポーザル審査会

## 最適候補者等選定書

---

岡谷市新病院建設基本設計プロポーザルについて、6月9日(木)の午前9時から、岡谷市役所603会議室においてヒアリング審査を行いました。

参加表明がありました5者から技術提案書が提出され、9名の委員により、厳正かつ慎重な審議を重ねた結果、下記のとおり、最適候補者及び次点を選定するに至りましたので報告します。

### 記

◎ 最適候補者

「日本設計・サイト設計共同体」 【提案番号5番】

◎ 次点

「久米・坂本設計共同体」 【提案番号1番】

平成23年 6月 9日

岡谷市新病院建設基本設計プロポーザル審査会

委員長 時 田 繁

# 岡谷市新病院建設基本設計プロポーザル 審査経過及び総評

## 【はじめに】

現在の市立岡谷病院は、経年による施設の老朽化が進み、建物の構造劣化が懸念されるほか、アメニティ（快適性）の面でも病室面積や廊下幅等において課題を抱えています。

岡谷市では、平成23年2月に「岡谷市新病院建設基本構想」を策定し、「患者、職員にも使いやすい病院」、「災害に強い病院」、「管理が容易で環境に配慮した病院」を建設の基本方針として定めましたが、平成23年度から基本設計業務に着手するにあたり、設計業者が「どのような考えを持ち」、「どのような技術を採用し」、「やる気はあるか」などを審査した上で、岡谷市新病院建設のパートナーに相応しい業者を選定するため、指名型プロポーザル方式（技術提案方式）を採用し、これを建築の視点、医療の視点、行政の視点など、様々な角度から審査・確認するため「岡谷市新病院建設基本設計プロポーザル審査会」が設置されました。

平成23年6月9日（木）、審査員9名により、匿名で提案された5つの技術提案を審査し、最適候補者及び次点を選定するに至りました。

## 1 岡谷市新病院建設基本設計プロポーザル審査会

委員長	時田 繁	社団法人 公共建築協会 常務理事
委員	角谷 眞澄	信州大学医学部附属病院 病院長補佐
		信州大学医学部 画像医学講座 教授
委員	中田 富雄	岡谷市 副市長
委員	小口 博己	岡谷市 水道建設部長
委員	小口 明則	岡谷市 企画政策部長
委員	平山 二郎	岡谷市病院事業管理者
委員	春日 和夫	岡谷市民病院 副院長
委員	山岡 範子	岡谷市民病院 看護部長
委員	青木 芳男	岡谷市民病院 事務部長

## 2 プロポーザルへの参加者名（共同企業体名 五十音順）

石本・竹内設計共同企業体  
久米・坂本設計共同体  
佐藤総合計画・なとり設計 設計共同企業体  
日本設計・サイト設計共同体  
山下設計・諏訪総合設計岡谷市新病院建設基本設計業務共同企業体

### 3 選定までの経緯

平成23年4月18日(月)	岡谷市建設工事等審査委員会 (大手設計業者6者及び地元設計業者6者を指名)
平成23年4月19日(火)	指名通知の発送
平成23年4月26日(火)	プロポーザル参加申請の提出締め切り(5者から申請) 第1回審査会(実施要領等について)
平成23年4月27日(水)	参加申請のあったJV(5者)へ実施要領を配布
平成23年5月6日(金)	参加表明書の提出(5者)及び現地説明の実施
平成23年5月9日(火)～10日(水)	技術提案書等に係る質問の受付
平成23年5月13日(金)	技術提案書等に係る質問への回答
平成23年5月26日(木)	技術提案書等の提出期限(5者から提出)
平成23年6月9日(木)	第2回審査会(ヒアリング及び審査) 岡谷市建設工事等審査委員会 (最適候補者との随意契約を決定)
平成23年6月17日(金)	プロポーザルの選定通知及び非選定通知発送

### 4 審査経過

#### ○ 第1回岡谷市新病院建設基本設計プロポーザル審査会

日時 平成23年4月26日(火) 午後2時～4時  
場所 市立岡谷病院 講堂  
参加者 委員9名中8名が出席(1名欠席)

#### 次第

- 1.開会
- 2.副市長あいさつ
- 3.病院事業管理者あいさつ
- 4.委員紹介
- 5.審査会について
- 6.議題
  - (1) 新病院建設についての基本的な考え方、事業スケジュールについて
  - (2) 基本設計プロポーザル実施要領等について
- 7.その他
- 8.閉会

#### (議題の内容)

- (1) 新病院建設についての基本的な考え方、事業スケジュールについて
    - ・市民病院の基本理念
    - ・市民病院の果たす役割
    - ・施設整備の基本方針
    - ・新病院建設の概要
    - ・整備スケジュール
    - ・現施設の状況(敷地の航空写真)
- ⇒以上の内容を新病院建設基本構想より抜粋し、資料にて説明。

(2) 基本設計プロポーザル実施要領等について

- ・岡谷市新病院建設基本設計プロポーザル実施要領（案）の説明
- ・技術提案書等作成要領の説明

課題① 敷地の特性を活かした建物、駐車場の配置計画に対する提案  
課題② 合理的な運営が持続する建築的構成に対する提案  
課題③ 新病院のアメニティに対する提案  
課題④ 新病院の環境整備に対する提案  
課題⑤ 自由な提案  
1者あたり提案25分、質疑等20分、合計45分の持ち時間で、匿名により提案を実施すること。

⇒以上の内容を資料にて説明。

⇒了承

○ 第2回岡谷市新病院建設基本設計プロポーザル審査会

日時 平成23年6月9日（木） 午前9時～午後3時  
場所 岡谷市役所6階 603会議室  
参加者 委員9名中9名出席

次第

- 1.開会
- 2.市長あいさつ
- 3.審査  
提案①（9:10～9:55）  
提案②（10:00～10:45）  
提案③（11:00～11:45）  
提案④（12:30～13:15）  
提案⑤（13:20～14:05）
- 4.審査のまとめ
- 5.最適候補者等の推薦
- 6.病院事業管理者あいさつ
- 7.閉会

総 評

岡谷市新病院建設基本設計プロポーザル審査会  
委員長 時田 繁

今回の新病院建設は、指名型プロポーザルの方式を採用し、新病院と同規模の病院建築の設計経験がある 6 業者と、地元設計事務所 6 業者が岡谷市の建設工事等審査委員会で指名され、5 つの設計共同企業体がプロポーザルに参加した。各者から極めて質の高い提案が提出され、審査は最終的に投票により最適候補者、次点を選出した。

本事業は、現在の病院敷地と市道を挟んだ文化センター跡地に新築する事業である。

建物配置計画については、現病院を駐車場とした場合、県道下諏訪辰野線からのアクセス、市道岡谷 379 号線の横断方法など様々な提案があったが、新病院敷地東側にピロティー形式の大きな車寄せロータリーを設置した 3 案が評価された。周辺への配慮については、5 者とも建物の圧迫感、日影に対する配慮がなされていた。

合理的で運営が持続できる動線計画、アメニティに対する提案については、動線が単純で、効率的な配置計画が評価された。

災害耐性、環境共生、改修の柔軟性、コストダウンに対する提案については、各者とも免震構造を採用し、東日本大震災の経験からエネルギー供給のフェールセーフの提案があった。

改修の柔軟性については、ロングスパン構造の採用が評価された。コストダウンについては、建設工事費、運営費に対する合理的な提案が各者からあった。

5 者に対するヒアリングを終了した後に、各委員による採点結果をもとに上位 3 者を選出した。続いて上位 3 者に対して投票を行い、2 者を選出、次に 2 者に対して投票を行い、最適候補者と次点者を決定した。

◆委員による選定投票経過

区分		内容				
1 回目 (投票)	投票対象	①	-----	③	-----	⑤
	得票数	7	-----	2	-----	9
	結果	決定	-----	-----	-----	決定

※ 3 者中、2 者を選出

2 回目 (投票)	投票対象	①	-----	-----	-----	⑤
	得票数	4	-----	-----	-----	5
	結果	-----	-----	-----	-----	決定

※ 2 者中、1 者を選出

5者に対する主な評価は次のとおりである。

#### 提案①

病棟をH型にすることで、東西の住宅への圧迫感、日影に配慮しているが、南北の住宅に対する配慮、寒冷地での北側病室の運営に課題がある。

経験が十分で、提案が良く整理されている。一方プランが固まっているようにも思えるが、病院側との柔軟な協議が求められる。

#### 提案②

病院のメインアプローチとして、ロータリーが円滑に機能するかどうかは課題である。

都市型ではなくゆとりのある地域で、病棟の軸を45度傾け、3角形の2病棟を配置したM型としており、諏訪湖への眺望は良いが、スタッフ動線と患者動線の区分けが明確でなく、方向感覚を掴みにくいという課題がある。

#### 提案③

新病院、市役所周辺をシビックコアとして位置付けていることは評価できる。

病棟を東西に配置しているため、病室の西日対策をどのように解決するかという課題がある。

病院側と設計者、医療コンサルタントとの協議が期待できる。

#### 提案④

北風に配慮してメインアプローチを南側に配置しているが、ロータリーの機能に課題があり、救急入り口を北側奥に設けているため、分かりやすさに課題がある。

既存の北病棟、手術棟を活用することで健康、福祉に対する提案を含んでいるが、機能が分散し運営上のクリアすべき課題がある。

病院側と設計者との協議に期待ができる。

#### 提案⑤

東側のエントランスに大きなロータリーを設け、駐車場との連携に渡り廊下を設置することで来院者への配慮がされている。

唯一地階を設ける提案であったが、これにより、1～3階が整然とした計画であり、階を下げることで日影に対する周辺への配慮がされている。反面、伏流水や残土処分の課題がある。

限られた面積を、医療に有効に使う提案がされており、エコボイドを利活用することにより、様々な可能性が期待できる。